

# 東根市工業用水道事業経営戦略（概要版） 令和8年度～令和17年度【上下水道部】

## 1. はじめに

経営戦略は、公営企業が将来にわたり安定的にサービスを提供するための中長期計画です。本市においては、令和2年度に投資・財源計画を柱とする「東根市工業用水道事業経営戦略」を策定して以来、5年が経過しましたが、今後訪れる更新時期に向けて、健全な経営の継続に努める必要があることから、適切な更新計画とそれに基づいた更新財源の確保ができるよう、総務省通知に基づき、経営戦略の改定を行うものです。

なお、計画期間は、令和8（2026）年度から令和17（2035）年度までの10年間とします。

## 2. 工業用水道事業の現状と課題

### （1）工業用水道事業の現状と課題

#### 1) 施設に関する現状と課題

現在は、施設能力（一日最大給水量10,600 m<sup>3</sup>）に対し、令和7年度の契約水量は、10,070 m<sup>3</sup>/日ですが、受水企業からは契約水量増加の要望があります。

既存PCタンクは耐震化・長寿命化対策を講じているものの、今後は計画的な更新が必要であり、多額の費用が見込まれます。

#### 2) 施設（管路）に関する現状と課題

導水管・送水管は、平成2～3年度に布設されており、配水管は昭和50年前後に布設された管を利用しています。管体調査により状態を把握したうえで、状態に応じた更新優先度を設定し、長期的な更新計画を検討していく必要があります。

#### 3) アセットマネジメント計画に関する現状と課題

点検により不具合が生じた設備の更新や、昨今の物価高及び資材不足による更新時期の変更はあったものの、概ね計画どおりの更新を実施しています。

老朽化した施設の計画的な更新が必要となる一方、資材価格の高騰や資材の不足により、今後の施設更新に当たり、大きな影響が懸念されます。

#### 4) 危機管理体制に関する現状と課題

「東根市上下水道災害対策マニュアル」を整備や、東北管内の工業用水道事業者間で実施している災害時応援訓練に参加し、災害対応力の向上に取り組んでいます。また、「東北地域における工業用水道災害時の相互応援に関する協定」を締結しています。水源地は、浸水想定区域であることから、応急的な対策として止水シート等を整備しております。一方で、広域災害時は、人員等を十分に確保できない可能性があります。

### （2）経営の現状と課題

経常収支比率は、収支が黒字ですが、需要の変動や物価・電気料等の高騰により費用が増加し、収支が圧迫される可能性があります。料金回収率は、100%を超えていますが、物価・電気料等の高騰により費用が増加する懸念があります。給水原価は、類似団体平均よりも高く、今後は物価・電気料等の高騰による費用の増加が懸念されます。契約率は類似団体と比べ高い水準にあります。

### 3. 経営の基本方針と具体的施策

#### **施策1 工業用水道事業経営基盤の強化**

##### ① 料金単価と責任使用水量制の維持

使用水量は横ばいのため急激な財政状況の悪化は見込みにくいものの、費用削減を進めて計画期間内は料金単価の維持に努め、料金収入の安定化に向け責任使用水量制を維持します。

また、経営戦略を定期的に見直し、更新需要が集中する場合は必要に応じて料金水準の検討を行います。

##### ② 契約水量の増加に向けた取り組み

受水企業の要望に応じて、施設能力の見直しや送水量の増加を検討していきます。

##### ③ 人材の育成

研修機会の確保と災害派遣への積極対応を通じて、職員の技術力・資質向上に努めます。

##### ④ 組織体制の見直し

令和4年度の組織改編により上下水道一体の組織体制となりました。今後も業務効率化を進めます。

##### ⑤ ウォーターPPP

新たな官民連携方式であるウォーターPPPについては、国や県等の動向を注視し、将来の選択肢として検討していきます。

#### **施策2 工業用水道施設の計画的な更新と適正な維持管理の実施**

##### ① 施設の機能保全と長寿命化

浄水場・配水池は、定期点検と補修により機能保全・長寿命化を図っていきます。機械・電気設備は不具合が安定供給に直結するため、定期的な点検を実施し、次期更新計画の策定を進めていきます。管路は管体調査で状態を把握し、状況に応じて更新優先度を設定したうえで長期更新計画を検討し、健全な場合は長寿命化を検討します。

##### ② 施設更新の適時・適正化

更新はアセットマネジメントの結果を活用し、受水企業の要請や需要動向を踏まえて送水ポンプ能力を精査したうえで、工事費用も勘案しながら施設能力の増強を図っていきます。

#### **施策3 災害時等における危機管理の強化**

##### ① リスク管理対策

関係部局等と連携して応急対策及び早期復旧を実施するとともに、維持管理業者等を含めた訓練・教育を定期的に行い、実効性の確保に努めます。

水源地については、応急的な浸水対策の体制を整えておりますが、恒久的な対策については、財政的な調整も含め、実施時期や方法について、慎重に検討していきます。

### 4. 投資・財政計画

#### (1) 将来の需要予測

##### 1) 有収水量予測

本計画では、令和6年度実績の13社が継続するものとして将来の有収水量を推計しています。契約水量は、現行の基本協定（一日当たり10,070m<sup>3</sup>）を基本としつつ、企業要望等を踏まえ、計画上は11,000m<sup>3</sup>を想定しています。給水収益は、供給単価（基本料金60円/m<sup>3</sup>）に有収水量（年間契約給水量）を乗じて算定しました。

表2 将来の需要予測

項目	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
一日基本契約給水量（m <sup>3</sup> /日）	10,070	11,000	11,000	11,000	11,000
受水企業数（社）	13	13	13	13	13
年間有収水量（m <sup>3</sup> ）	3,675,550	4,026,000	4,015,000	4,015,000	4,015,000
給水収益（千円）	220,533	241,560	240,900	240,900	240,900

項目	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
一日基本契約給水量（m <sup>3</sup> /日）	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
受水企業数（社）	13	13	13	13	13
年間有収水量（m <sup>3</sup> ）	4,026,000	4,015,000	4,015,000	4,015,000	4,026,000
給水収益（千円）	241,560	240,900	240,900	240,900	241,560

## （2）収支計画の概要

### 1) 投資計画

各種施設の更新にあたっては、アセットマネジメント計画で試算された結果を参考とし、施設更新事業費を見込んでいます。

### 2) 財政計画

企業債について、現在は借入を行っていない状況であり、将来についても借入は基本的に行わず事業を実施する予定です。資本的収支の不足に対しては、損益勘定留保資金を充てることとします。

### 3) 損益及び資金残高の見通し

計画期間における損益及び資金残高の見通しを図1に示します。

損益は、概ね0.6～0.7億円程度の黒字となる見通しです。これに伴い、資金残高は緩やかに増加する見通しです。今後も、契約水量の動向を踏まえ、5年に1度の頻度で定期的に見直しを行い、必要に応じて料金体系の見直しを検討します。

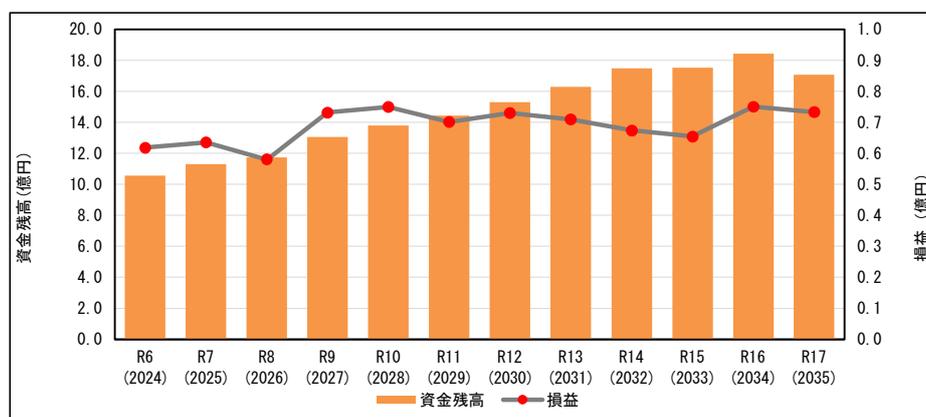


図1 損益及び資金残高の推移

## 5. 効率化・経営健全化手法の整理

### (1) 投資の合理化、費用の見直しについての検討状況等

#### ① 民間資金・ノウハウ等の活用（PPP／PFI等の導入等）

業務の効率化と経費の削減を図るため、関連業務の委託を継続していきます。ウォーターPPPについても、水道事業と下水道事業の動向を注視しながら、経営改善の一つの選択肢として考えていきます。

#### ② アセットマネジメントの充実（施設・設備の長寿命化等による投資の平準化）

定期的な点検に基づき、必要な更新を実施するとともに、適正な維持管理の実施により、施設・設備の長寿命化を図りながら、更新時期や費用の平準化に努めます。

#### ③ 施設・設備の合理化（ダウンサイジング・スペックダウン）

施設更新はアセットマネジメントの結果を活用するとともに、受水企業側の需要量の変動等を踏まえて、必要な施設能力を見極め、過剰な投資とならないように、必要に応じて、ダウンサイジングやスペックダウンを検討します。

### (2) 財源についての検討

#### ① 料金

経営戦略を定期的に見直し、施設や設備、管路の更新が重なる等、更新需要が集中する場合には、必要に応じて料金水準についても検討していきます。

#### ② 企業債

これまでは、大規模更新時の財源として起債を活用してきましたが、資金残高の維持のために起債を行うのが適切なのか、検討を進めていきます。

#### ③ 繰入金

今後も同様に独立採算を維持に努めます。

#### ④ 資産の有効活用等による収入増加の取組

活用が可能なものがあれば検討していきます。

#### ⑤ その他の取組

資本的収入について条件等が合致し、利用可能な補助金等があれば、活用を検討します。

## 6. 経営戦略の事後検証と公表

概ね5年を目途に計画を見直しますが、毎年度、進捗管理を実施するとともに、PDCAサイクルにより検証し、その結果、計画と実績に大きな差が生じた場合においても計画を見直します。「東根市工業用水道事業経営戦略」は東根市公式ホームページで公表します。



図2 PDCAサイクル  
イメージ

投資・財政計画（収益の収支）

東根市工業用水道事業

（単位：千円，％）

区 分		年 度	前々年度 （ 決 算 ）	前年度 〔 決 算 〕 〔 見 込 〕	本年度 令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)	令和14年度 (2032年度)	令和15年度 (2033年度)	令和16年度 (2034年度)	令和17年度 (2035年度)
収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)		220,533	220,533	220,533	241,560	240,900	240,900	240,900	241,560	240,900	240,900	240,900	241,560
	(1) 料 金 収 入		220,533	220,533	220,533	241,560	240,900	240,900	240,900	241,560	240,900	240,900	240,900	241,560
	(2) 受 託 工 事 収 益 (B)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 営 業 外 収 益		20,505	16,325	16,325	16,325	16,325	16,325	16,325	8,787	7,999	3,577	2,314	2,314
	(1) 補 助 金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他 会 計 補 助 金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 補 助 金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 長 期 前 受 金 戻 入		15,660	15,661	15,661	15,661	15,661	15,661	15,661	8,123	7,335	2,913	1,650	1,650
	(3) そ の 他		4,845	664	664	664	664	664	664	664	664	664	664	664
収 入 計 (C)		241,038	236,858	236,858	257,885	257,225	257,225	257,225	250,347	248,899	244,477	243,214	243,874	
収 益 的 支 出	1. 営 業 費 用		179,235	173,341	178,841	184,743	182,304	187,075	184,290	179,444	181,532	179,090	168,177	170,605
	(1) 職 員 給 与 費		12,923	13,052	13,183	13,315	13,447	13,582	13,718	13,855	13,993	14,133	14,275	14,417
	基 本 給		7,015	7,085	7,156	7,228	7,300	7,373	7,447	7,521	7,596	7,672	7,749	7,826
	退 職 給 付 費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他		5,908	5,967	6,027	6,087	6,147	6,209	6,271	6,334	6,397	6,461	6,526	6,591
	(2) 経 費		86,026	88,015	90,753	91,660	92,577	93,502	95,633	95,381	96,336	97,299	98,271	100,523
	動 力 費		56,799	57,367	60,941	61,550	62,166	62,788	63,416	64,050	64,691	65,338	65,991	66,651
	修 繕 費		9,785	9,883	9,982	10,082	10,183	10,285	10,388	10,492	10,597	10,703	10,810	10,918
	材 料 費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他		19,442	20,765	19,830	20,028	20,228	20,429	21,829	20,839	21,048	21,258	21,470	22,954
(3) 減 価 償 却 費		80,286	72,274	74,905	79,768	76,280	79,991	74,939	70,208	71,203	67,658	55,631	55,665	
(4) 資 産 減 耗 費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2. 営 業 外 費 用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(1) 支 払 利 息		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支 出 計 (D)		179,235	173,341	178,841	184,743	182,304	187,075	184,290	179,444	181,532	179,090	168,177	170,605	
経 常 損 益 (C)-(D) (E)		61,803	63,517	58,017	73,142	74,921	70,150	72,935	70,903	67,367	65,387	75,037	73,269	
特 別 利 益 (F)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特 別 損 失 (G)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特 別 損 益 (F)-(G) (H)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当 年 度 純 利 益 ( 又 は 純 損 失 ) (E)+(H)		61,803	63,517	58,017	73,142	74,921	70,150	72,935	70,903	67,367	65,387	75,037	73,269	
繰 越 利 益 剰 余 金 又 は 累 積 欠 損 金 (I)		61,803	125,320	183,337	256,479	331,400	401,550	474,485	545,388	612,755	678,142	753,179	826,448	
流 動 資 産 (J)		1,085,024	1,158,625	1,202,072	1,333,652	1,408,572	1,471,502	1,559,226	1,657,799	1,775,285	1,780,541	1,871,633	1,734,557	
う ち 未 収 金		29,922	28,604	28,604	28,604	28,604	28,604	28,604	28,604	28,604	28,604	28,604	28,604	
流 動 負 債 (K)		20,963	20,811	20,811	20,811	20,811	20,811	20,811	20,811	20,811	20,811	20,811	20,811	
う ち 建 設 改 良 費 分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
う ち 一 時 借 入 金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
う ち 未 払 金		19,874	19,874	19,874	19,874	19,874	19,874	19,874	19,874	19,874	19,874	19,874	19,874	
累 積 欠 損 金 比 率 ( $\frac{(I)}{(A)-(B)} \times 100$ )		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 15 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (L)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
営 業 収 益 - 受 託 工 事 収 益 (A)-(B) (M)		220,533	220,533	220,533	241,560	240,900	240,900	240,900	241,560	240,900	240,900	240,900	241,560	
地 方 財 政 法 に よ り 算 定 し た 資 金 不 足 の 比 率 ((L)/(M) × 100)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
健 全 化 法 施 行 令 第 16 条 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (N)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
健 全 化 法 施 行 規 則 第 6 条 に 規 定 す る 解 消 可 能 資 金 不 足 額 (O)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
健 全 化 法 施 行 令 第 17 条 に よ り 算 定 し た 事 業 の 規 模 (P)		220,533	220,533	220,533	241,560	240,900	240,900	240,900	241,560	240,900	240,900	240,900	241,560	
健 全 化 法 第 22 条 に よ り 算 定 し た 資 金 不 足 比 率 ((N)/(P) × 100)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

投資・財政計画（資本的収支）

東根市工業用水道事業

（単位：千円）

年 度		前々年度 （決算）	前年度 〔決算 見込〕	本年度 令和8年度 （2026年度）	令和9年度 （2027年度）	令和10年度 （2028年度）	令和11年度 （2029年度）	令和12年度 （2030年度）	令和13年度 （2031年度）	令和14年度 （2032年度）	令和15年度 （2033年度）	令和16年度 （2034年度）	令和17年度 （2035年度）	
区 分														
資本的 収入	1. 企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4. 他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5. 他会計借入金													
	6. 国（都道府県）補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7. 固定資産売却代金													
	8. 工事負担金													
	9. その他													
	計 (A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)													
	純計 (A)-(B) (C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資本的 支出	1. 建設改良費	55,326	51,015	81,195	6,236	66,682	78,705	48,938	37,857	15,124	137,364	41,719	290,796
うち職員給与費														
2. 企業債償還金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3. 他会計長期借入金返還金														
4. 他会計への支出金														
5. その他														
計 (D)	55,326	51,015	81,195	6,236	66,682	78,705	48,938	37,857	15,124	137,364	41,719	290,796		
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (E)	55,326	51,015	81,195	6,236	66,682	78,705	48,938	37,857	15,124	137,364	41,719	290,796		
補填財源	1. 損益勘定留保資金	50,296	46,377	73,814	5,669	60,620	71,550	44,489	34,415	13,749	124,876	37,926	264,360	
	2. 利益剰余金処分額													
	3. 繰越工事資金													
	4. その他	5,030	4,638	7,381	567	6,062	7,155	4,449	3,442	1,375	12,488	3,793	26,436	
計 (F)	55,326	51,015	81,195	6,236	66,682	78,705	48,938	37,857	15,124	137,364	41,719	290,796		
補填財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
他会計借入金残高 (G)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
企業債残高 (H)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

○他会計繰入金

（単位：千円）

年 度		前々年度 （決算）	前年度 〔決算 見込〕	本年度 令和8年度 （2026年度）	令和9年度 （2027年度）	令和10年度 （2028年度）	令和11年度 （2029年度）	令和12年度 （2030年度）	令和13年度 （2031年度）	令和14年度 （2032年度）	令和15年度 （2033年度）	令和16年度 （2034年度）	令和17年度 （2035年度）
区 分													
収益的収支分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち基準内繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち基準外繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的収支分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち基準内繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち基準外繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	